

【テーマ2】

第2の故郷として親しみと愛着
がわく駅周辺

【居住環境の多様性】

- ・穂積駅周辺を居住地として選択してもらうための複合的な住環境づくり。お互いのメリットの創出
 - ➡大学生同士のルームシェア（空家活用、他市大学生からも選択）
 - ➡下宿先として大学生と独居高齢者のルームシェア
 - ➡多世代が集まるアパート
 - ➡子育て世代に向けたお試し住まい
- ・現居住者と新たな居住者との良好な関係形成
 - ➡交流の場（文化施設・銭湯等）を活用した地域を受け入れる雰囲気醸成
 - ➡カーシェアなど時代にあわせたニーズへの対応
 - ➡将来、祖父母を呼ぶことを想定した多世代居住への対応

【オープンスペースイメージ】

- ・芝生やベンチ、水遊び場など最低限の設備。場面によってフレキシブルな利用（共通事項）
- ・「通常時」は散歩・憩い・交流の場として活用（移動販売車等の利用も可能）
- ・「災害時」は人が集まれる一時避難場所として活用（水害等による浸水時は不可）
- ・「イベント時」はステージや屋台、スペースとして活用

自然と親しむ

糸貫川
グラウンド

多様な居住環境

【駅周辺（共通事項）】

- ・駅周辺で日用品やコンビニなど誰もが利用可能な空間づくり
- ・交通機能の分離による利用環境の向上

【商店街の賑わい】

- ・居住者だけの商店街から駅利用者、大学生など幅広い利用を意識した利用環境を検討
 - ➡共有飲食スペースの設置
- ・空きスペースを活用したチャレンジショップ、キッチンカーの設置検討等の活用
 - ➡若い世代や大学生が利用しやすいお店を検討

親水空間

多様な居住環境

穂積駅

オープンスペース

文化施設
劇場

立体駐車場
一時利用
カーシェア利用

共有飲食
スペース

南北導線の強化

自動車・送迎
優先

歩行者・自転車
優先

市役所

穂積小学校

歩道整備

親水空間

凡 例

現		鉄道軸
		広域道路軸
		道路軸
		バス網
		歩行者道路軸
状		交通の集中
		まとまった未利用地

0 50m 150m 300m